



こう寒暖の差が激しいと、身体も心も消耗しますね。なんだか眠くなるのは“少し落としたほうがいいよ”と身体が知らせてくれているのかなと思います。GWをいいアクセントにしたいですね。新しい船出は、ひとり一人それぞれですが、見える景色が少し変わるだけで、自分の中に潜んでいた力が湧き出してくるかもしれません。慣れる4月から、見つける5月にしていきたいですね。一緒に手をつなげる仲間がいれば、安心して一歩踏み出せるし、視野も広がります。そんなことしているうちに、いつの間にか暑さ仕様に。一緒に“いい汗”かきましょ！生活がオープンになりますが、エチケットと思いやりを大切に過ごしていきましょう！

—5月・6月の予定—

- 5月11日(木) ドクターNの医療相談(14:00~)
- 5月23日(火) 地域連携日(児童・放デイ共にお休みです)
- 5月15日(月)・18日(木) OT(児童)
- 5月17日(水) ST(児童)
- 6月2日(金)・27日(火) OT(児童)
- 6月6日(火) 健康診断(児童)
- 6月8日(木)・20日(火) ST(児童)



＝お知らせ＝



≪5類移行後のコロナ感染症対応について≫

5月8日(月)より、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更されます。それに伴い、あんずの児童、放デイでも対応を変更します。

- ① マスクの使用は任意にします。風邪気味の方にはマスク使用を推奨します。また、これまで同様の感染対策をしたい方のマスク着用は任意とします。職員も同様です。
- ② あんずに来た際の、子どもと大人の検温はいたしません。自己管理でお願いします。但し、体調に不安のある方は、入口で検温を行うことができます。お気軽にお申し出ください。
- ③ 換気はこれまで同様常時行います。窓の開放、換気扇の使用は常時行います。
- ④ 手洗いはこれまで同様、こまめをお願いします。
- ⑤ 児童の給食や放デイのおやつの際のスペース確保には留意していきます
- ⑥ コロナ感染した場合は、発症後5日間の自宅待機及び、解熱後一日経過した後のあんずの利用にご協力をお願いします。

※コロナ感染症が再度蔓延し始めた場合は対応を変更することがあります。

何か不安なことがありましたら、小さなことでもためらわず、お気軽にご相談ください

《地域連携日について》（児童・放デイ共通）



5月23日（火）は地域連携日となります。

幼稚園や保育所、小中学校、学童保育室 数力所へ、あんずの職員が訪問します。対象になるご家庭には事前にお知らせします。関係機関との連携の一環として、充実した時間にしていきたいと思います。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

その日の児童と放デイの支援はお休みになります。

《ドクターNの医療相談》（児童・放デイ共通）



埼玉医大総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別の医療相談を、5月11日（木）14:00～16:00に行います。（一人30分・4枠）

今回は4枠すべてお申込みいただいておりますが、今後希望される方には、順次お知らせしていきます。相談希望のある方、ご関心のある方はお申し出ください。

【年間予定】 ②9月14日（木） ③11月9日（木） ④1月11日（木）

《定期健康診断について》（児童）



6月6日（火）13:00～、児童の子ども達を対象に健康診断を行います。担当医は、櫻澤医院の茂手木先生です。

受診は必須ですが、幼稚園・保育所で健診を受けている場合は、受けないでいただいても構いません。

《事業所評価アンケートの結果について》（児童・放デイ共通）

2月に保護者の皆さんにご協力いただきました、あんずの事業所評価アンケートの集計結果について、あんずのホームページに掲載しましたので、ご確認ください。あんずの受付カウンターファイルにも置きました。皆さんからいただきましたご意見を今後の支援や運営に活かしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



《『地域連携シート』へのご協力ありがとうございます》（放デイ）

狭山市自立支援協議会こども部会より、市内の放課後等デイサービス利用のご家庭に対して、『地域連携シート』のご記入と関係機関への配布をお願いしています。いくつかの放デイを利用しているご家庭には、その中の一か所の事業所より配布されていると思います。教育と福祉の連携、ひとりの子どもが利用している関係機関がつながっていくことのメリットを大いに活かしていけるよう、共通のシートにて、その子が利用している場所を、ご家庭と支援者が共有していくことから始めていきたい。そんな願いを形にしていくための取り組みです。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。みなさんで大いに活用していきましょう。

児童の支援あれこれ



4月は、あんずの児童全体の取り組みとして、写真カードを見て持って、次の活動をする教室へ移動することを覚えてもらうところから始めました。

新しい形に、子ども達も大人もドキドキ。。。だけど、毎日繰り返すことで、お家の人と手をつないで次の部屋に向かうことが、ひとり一人少しずつ上手になってきました。

手にしたカードを見て、どの部屋に行くかが『わかる』。ホワイトボードに貼ってあるカードを見て、何をすることが『わかる』。『わかる』ことでイメージが広がり、見通しを持って取り組むことにもつながります。生活場面でも活かせるような“力”ですね。

また、4月は“知っている！”“できた！”といった経験を重ねられるように、朝の会や活動を展開してきました。

ひとりひとりの“おなじみ”や“大好き”が見つかるといいなと思っています。



放デイのひとり言

新しい友達やひとつ大きくなった友達とのスタートの4月。

どこかいつもと空気の違うこの時期、子どもも大人もすこしだけ(?)ピリッとした時間、いいなと感じています。前回よりも気持ちがほぐれたかな、楽しみに今日も来てくれたかな、玄関の「こんにちは〜！」の挨拶の表情を気にかけてしまいます。

さて、4月の活動は【身体をあやつる・投げる・転がす】でした。

特に、投げたり転がしたりといった動作は生活の中ではなかなか経験できません。それを巧技台、玉入れ、ボーリングといった、経験したことがある、また“知っている”と思えるわかりやすい活動の中で取り組みました。中学生の先輩は、進行役や片付けの役割を担ってくれて大活躍です。『作って遊ぼう』では、自分で染紙を作るところからスタートしました。ハサミ、のりの道具の扱いも、繰り返しの経験ですね。

あんずの放デイが、居心地の良い場所になってもらえるよう、「また来るね」「待ってるねえ」の挨拶がたくさん聞かれるよう、5月に向かいますね。

疲れも出てきます。そんな時は、大人も子どももひと休み！です。



保育所等訪問支援ある日あるとき

4月の訪問支援は、保育所への訪問が主でした。クラスの場所や先生が替わっても、仲間が替わらないのが保育所の特徴のひとつです。関わりや過ごし方があまり上手でない子にとって、これまでと同じ仲間と過ごせることのメリットはとても大きく、本当にありがたいことです。

それでも、小さな変化に“あれ？”“おかしいな・・・”と戸惑う姿があちこちでもこっちでも。先生にいつもより甘えてみたり、できていたことが少し疎かになっていたり。落ち着かなかつたり、“昔のあれ”にこだわってみたり。子どもの思いの表し方はいろいろでした。

新しさや変化にドキドキしているときには、“変わらないもの”や“おまもり”が欲しくなるものです。言葉で思いを上手く表現できない子ほど、そんな気持ちになりがちで、そんな姿がありました。先生方とそんな話をあちこちでしてきました。次また会うのが楽しみです。よろしくお願いします。



あんず書店



『おばけがぞろぞろ』 ささき まき
福音館書店

子どもが好きなおばけが、あちこちにいて、
おばけの友達を誘って出かけます。
最後に行くのはどこかな～？
ほら、みんなのところにも来たヨ。
「あそびましょ～」 (池田)



☆お 礼☆

久しぶりにお会いしたお母さんから、BOXティッシュをいただきました。
あんずのことを気にしていただき、本当にうれしいです。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



やることがたくさんあっても
できることをひとつずつ。